



第三者審査委員会

eco!on商品の環境に対する影響は、社内での検討だけではなく、専門家や有識者の方々による第三者審査委員会で審議していただき、審査基準を満たした商品だけをeco!onとして販売しています。審査項目には、原料や製造段階での環境負荷や容器包装の環境配慮などがありますが、特に商品開発者の「環境配慮への思い、ストーリー」について審議しました。その思いのなかには、「現在だけではなく未来の地球環境に対する責任」や「購入していただくお客様へのメッセージ」「生産者のこだわり」などが入っています。これらの審査には、生産現場や農場視察など実際に製造や生産段階の確認をも含んでいます。



生産現場での審査の様子



第三者審査委員主要メンバー（写真左から）

- 社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会
中部支部副支部長理事／尾関さゆりさん
- 株式会社フルハシ環境総合研究所代表取締役社長／船橋康貴さん
- 名古屋大学大学院環境学研修科交通・都市国際研究センター
教授／森川高行さん



株式会社フルハシ
環境総合研究所
代表取締役社長
船橋康貴さん

eco!onは環境配慮商品をブランド化した先駆的な取り組みです。eco!onを通してユニーはお客様にわかりやすく、正確に、かつ真面目に「地球にやさしく人にやさしい」という21世紀の新しい価値を創造し提供しています。私はこの素晴らしい取り組みに関わる一人として、eco!onが産声を上げて成長していく過程に参加していることを誇りに思っています。

eco!on商品の環境配慮性を確認する第三者審査委員会では、商品そのものの環境配慮だけではなく、その生産工程や作り手（生産者）の環境に対する意識を確認しています。製造工場が海外であっても、現地へ赴き、工場の生産工程の環境配慮の確認や指導を実施しています。第三者審査委員会では、専門の先生方から厳しい意見が出されますが、ユニーはそれを厳粛に受け止め、よりよいeco!on商品の提供に努めています。

現在は、日常の消費材や衣料などがeco!on対象商品としてユニーの店頭に並んでいます。今年からは新しい試みとして、環境配慮型の野菜を皮切りに、食品に対する認証への挑戦が始まっています。私たちが毎日口にする食品のことですから、この試みがますます盛んになることで、eco!onを通じてお客様との環境コミュニケーションが活発になることを願っています。

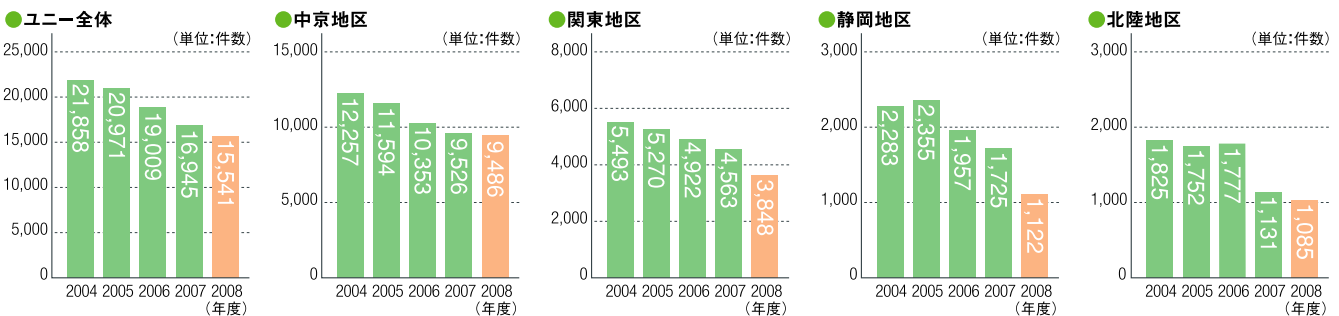
家電リサイクル

家電リサイクル券取扱優良店の認定

家電品売場のお客様の目につきやすい場所にポスターを貼ったり、販売スタッフがきちんと説明したりするなどして、家電リサイクル法に対するお客様への理解を深めています。そうした取り組みもあり、(財)家電製品協会から「家電リサイクル券取扱優良店」の認定を受けることができました。



家電リサイクル状況



ケナフパルプ素材を配合した環境配慮型値札

衣料品の値札は100%木材を原料とした木材パルプを使用していましたが、現在では全店舗でケナフパルプ30%と木材パルプ70%を組み合わせ合わせて配合した「環境配慮型値札」を採用しています。これにより、衣料値札の木材パルプ使用量を30%削減することが実現し、立木では概算184本/年間の森林資源の保護につながりました。

